

セメント・同製品製造業におけるその他の装置、設備を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
3	16~17	台車の上に載せられた断熱材が送られてきて、次の工程に移る際、エアコンの吹き出し口に頭部が当たり、首を捻り負傷した。	29	10~29
7	11~12	当社工場内において、コンクリートブロックの製品を製造作業中、製品が仕上がったので型枠を左右に開いて外そうとした際、外した金具が足の上に倒れてきて、右足の中指つけねが挟まり負傷した。被災者も金具が倒れることを知っていて、足に当たらないよう避けていたつもりができておらず、ちょうど安全靴の足先の硬くないところに金具があたり負傷した。	34	10~29
9	15~16	材料となるセメントの給材ホッパー（2号ライン）周りで、成形機トラブルによるホッパー内に残った平モルタル廃棄準備中に、ホッパー開口部の板を外して、その上を歩いているときに体勢を崩して右足首を捻って骨折した。	32	10~29
10	16~17	ブロックマシン使用後の清掃中、砂ホッパー内を掃除しようとしホッパーとホッパー格納庫の間隙（幅20cm×長さ2m×高さ2m10cm）に落ちた。	54	10~29
11	15~16	ブロック検品ライン作業中にブロック押し出し機にブロックが引っ掛かり止まってしまった。停止させて入らなければいけないエリアに停止させずにブロックを取ったところ、ブロックと押し出し機アーム部分（棒状）に右薬指を挟んだ。	50	10~29
11	9~10	製造現場において、昇降梯子を設けていないボックスカルバート1000×700の型枠の組立作業で、型枠にのぼる時に、普段は気付いているはずの型枠保管用固定金具の突起部に長靴が引っ掛かり、体勢を崩し型枠から落下した。落下する際に、隣の	46	50~99

		型枠に背中を強打し肋骨を骨折した。		
12	9~10	第2工場Bゾーンにて、型枠1200×900の脱型作業中に、型枠内枠と下台の間を清掃するために内枠をクレーンで支えずにバールだけで移動したところ、内枠が受板を外れたため、内枠が倒れ下敷となり、右手右足の一部を骨折した。	49	30 ~ 49

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html